

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 バイテック

コード番号 9957 URL <http://www.vitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩本 永三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 理財本部本部長

(氏名) 成瀬 達一

TEL 03-3458-4619

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	26,527	△18.6	141	△57.4	195	△36.1	113	△51.4
21年3月期第1四半期	32,589	—	333	—	305	—	234	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.75	—
21年3月期第1四半期	19.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	33,949	7,744	21.3	618.88
21年3月期	33,250	8,054	21.5	610.78

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,237百万円 21年3月期 7,142百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	56,000	△13.8	280	△65.2	380	△44.1	150	△59.1	12.83
連結累計期間	122,000	12.2	950	6.0	1,000	104.6	600	—	51.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。)
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 12,076,358株 | 21年3月期 | 12,076,358株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 382,104株 | 21年3月期 | 382,104株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 11,694,254株 | 21年3月期第1四半期 | 11,875,556株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する説明等につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年4月～平成21年6月）におけるわが国経済は、景気悪化による企業の生産調整がおさまりつつあり、明るい兆しが見えてきたものの、雇用情勢、消費者マインド等、引き続き不透明な局面にあるといえます。

こうした経済情勢の中、エレクトロニクス・情報通信分野におきましては、在庫調整が一巡したことや、中国を中心とした経済政策を背景にデジタル家電市場が徐々に需要を回復してきております。

このような状況下、当社グループでは、前連結会計年度末に連結子会社化したP T T株式会社が、当期より業績に寄与したことに加え、需要が期初予想を上回って推移しておりますが、本格的回復には至らず、当第1四半期連結会計期間の売上高は26,527百万円（前年同期比18.6%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は195百万円（前年同期比36.1%減）となり、四半期純利益は113百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

事業部門別概況は、次のとおりであります。

①エレクトロニクスデバイス事業

エレクトロニクスデバイス事業につきましては、携帯電話向けCMOSセンサが堅調に推移しておりますが、当社の主力取扱商品であります、デジタルカメラ向け半導体等の本格的な需要回復に至りませんでした。

その結果、エレクトロニクスデバイス事業の売上高は25,117百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

②コンポジットビジネス事業

コンポジットビジネス事業につきましては、大手メーカー向けのプロキュアメント（部品調達）事業が顧客の購買方針変更により、規模縮小となりました。

その結果、コンポジットビジネス事業の売上高は1,023百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

③サポート事業

サポート事業につきましては、CCD・CMOSイメージセンサ等、カメラ関連の技術サポート業務の受注が減少し、また光ディスク関連のサポート事業については、受注終了となりましたが、新たに連結子会社化したP T T株式会社の計測機器ビジネスが寄与し、売上高が増加しました。

その結果、サポート事業の売上高は386百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は次の通りであります。

①日本

国内におきましては、携帯電話向けCMOSセンサが堅調に推移しておりますものの、当社の主力取扱商品であります、デジタルカメラ向け半導体等の本格的な需要回復に至りませんでした。

その結果、売上高20,189百万円（前年同期比17.9%減）となり、営業利益は27百万円（前年同期比89.7%減）となりました。

②アジア

アジアにおきましては、日系顧客の海外生産シフトが進んだものの、需要の減少により売上高は減少しました。

その結果、売上高6,257百万円（前年同期比20.9%減）となりましたが、為替変動の影響により営業利益は114百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から699百万円増加し33,949百万円となりました。これは主に売上債権が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末から1,009百万円増加し26,205百万円となりました。これは主に仕入債務が増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より309百万円減少し7,744百万円となっております。これは主に連結子会社を完全子会社化したことにより、少数株主持分が減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末から199百万円減少し3,001百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、3,109百万円(前年同期は68百万円の減少)となりました。これは主に仕入債務の増加が売上債権の増加を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、869百万円(前年同期は0百万円の増加)となりました。これは主に子会社株式の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は2,485百万円(前年同期は555百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の返済によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

詳細は、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

② 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,201,116	3,200,274
受取手形及び売掛金	16,479,731	15,502,840
たな卸資産	5,825,041	6,321,552
繰延税金資産	457,065	334,501
その他	592,013	382,820
貸倒引当金	△517	△1,222
流動資産合計	26,554,451	25,740,766
固定資産		
有形固定資産	3,974,367	4,006,676
無形固定資産		
ソフトウェア	69,175	60,640
その他	7,699	7,699
無形固定資産合計	76,875	68,340
投資その他の資産		
投資有価証券	639,670	550,401
長期貸付金	870,602	882,253
繰延税金資産	1,352,841	1,517,338
その他	939,404	953,250
貸倒引当金	△458,724	△468,762
投資その他の資産合計	3,343,793	3,434,480
固定資産合計	7,395,035	7,509,497
資産合計	33,949,487	33,250,264

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,767,191	10,798,168
短期借入金	6,525,085	8,871,774
1年内返済予定の長期借入金	432,500	465,000
未払法人税等	38,783	63,796
賞与引当金	318,832	363,823
製品保証引当金	8,878	8,787
その他	531,860	690,688
流動負債合計	22,623,132	21,262,038
固定負債		
長期借入金	1,510,000	1,600,000
繰延税金負債	38,615	12,159
退職給付引当金	343,812	334,475
役員退職慰労引当金	30,125	197,030
負ののれん	1,272,300	1,572,908
その他	387,330	217,596
固定負債合計	3,582,183	3,934,169
負債合計	26,205,316	25,196,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,864	4,503,864
資本剰余金	1,699,398	1,699,398
利益剰余金	1,353,667	1,298,147
自己株式	△231,382	△231,382
株主資本合計	7,325,549	7,270,028
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,969	△15,710
繰延ヘッジ損益	△4,063	—
為替換算調整勘定	△124,108	△111,692
評価・換算差額等合計	△88,203	△127,403
少数株主持分	506,825	911,430
純資産合計	7,744,170	8,054,056
負債純資産合計	33,949,487	33,250,264

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	32,589,321	26,527,801
売上原価	31,056,815	24,965,345
売上総利益	1,532,506	1,562,456
販売費及び一般管理費	1,199,268	1,420,512
営業利益	333,237	141,943
営業外収益		
受取利息	10,153	2,737
受取配当金	5,617	6,615
デリバティブ評価益	24,281	—
賃貸収入	23,444	11,305
負ののれん償却額	—	64,722
受取手数料	—	33,151
その他	13,284	21,439
営業外収益合計	76,781	139,972
営業外費用		
支払利息	27,280	24,001
貸与資産減価償却費	21,597	7,822
債権売却損	51,528	22,329
為替差損	—	26,283
その他	4,483	6,466
営業外費用合計	104,888	86,903
経常利益	305,130	195,013
特別利益		
為替換算調整勘定取崩額	77,574	—
貸倒引当金戻入額	2,018	1,430
特別利益合計	79,592	1,430
特別損失		
特別退職金	—	15,306
固定資産除却損	17	30
特別損失合計	17	15,337
税金等調整前四半期純利益	384,705	181,106
法人税、住民税及び事業税	34,566	31,213
法人税等調整額	101,225	38,683
法人税等合計	135,791	69,896
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14,432	△2,781
四半期純利益	234,482	113,991

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	384,705	181,106
減価償却費	50,210	37,947
のれん償却額	8,939	—
負ののれん償却額	—	△64,722
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,131	△1,649
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,721	△44,853
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,077	9,457
受取利息及び受取配当金	△15,770	△9,353
支払利息	27,280	24,001
為替差損益 (△は益)	△38,645	△2,667
デリバティブ評価損益 (△は益)	△24,281	5,245
為替換算調整勘定取崩額	△77,574	—
特別退職金	—	15,306
売上債権の増減額 (△は増加)	3,565,745	△977,452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△833,602	487,759
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,229,031	3,636,946
その他	227,198	△127,244
小計	△29,600	3,169,827
利息及び配当金の受取額	16,058	9,255
利息の支払額	△27,057	△13,282
法人税等の支払額	△28,331	△56,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,930	3,109,400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△7,698	△1,196
有形固定資産の売却による収入	—	2,159
無形固定資産の取得による支出	△2,663	△14,511
投資有価証券の取得による支出	△451	△449
子会社株式の取得による支出	—	△665,921
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△3,271	△368
長期貸付金の回収による収入	10,141	12,379
その他	4,572	△1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	628	△869,015

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△264,500	△2,310,584
長期借入金の返済による支出	△32,500	△122,500
自己株式の取得による支出	△29,483	—
配当金の支払額	△229,321	△49,498
少数株主への配当金の支払額	—	△3,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,804	△2,485,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,637	46,340
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△636,744	△199,157
現金及び現金同等物の期首残高	3,024,334	3,200,274
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△11,182	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,376,407	3,001,116

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当連結グループは、電子部品の販売を主事業としている専門商社であり、主要な一セグメントの売上高及び営業利益の金額とも全セグメントの90%超となっております。

このため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当連結グループは、電子部品の販売を主事業としている専門商社であり、主要な一セグメントの売上高及び営業利益の金額とも全セグメントの90%超となっております。

このため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	24,590,841	7,906,996	91,483	32,589,321	—	32,589,321
(2) セグメント間の内部売上高	2,343,207	16,373	—	2,359,580	(2,359,580)	—
計	26,934,048	7,923,369	91,483	34,948,901	(2,359,580)	32,589,321
営業利益又は営業損失(△)	263,530	74,845	△3,149	335,225	(1,987)	333,237

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	20,189,300	6,257,707	80,794	26,527,801	—	26,527,801
(2) セグメント間の内部売上高	1,139,504	16,622	—	1,156,126	(1,156,126)	—
計	21,328,804	6,274,329	80,794	27,683,928	(1,156,126)	26,527,801
営業利益又は営業損失(△)	27,151	114,531	△953	140,730	1,213	141,943

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……東アジア及び東南アジア諸国

その他……北米

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア（千円）	その他（千円）	計
I. 海外売上高	8,066,212	177,256	8,243,468
II. 連結売上高	—	—	32,589,321
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	24.8	0.5	25.3

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア（千円）	その他（千円）	計
I. 海外売上高	6,424,989	109,098	6,534,087
II. 連結売上高	—	—	26,527,801
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	24.2	0.4	24.6

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……東アジア及び東南アジア諸国

その他……米国他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。